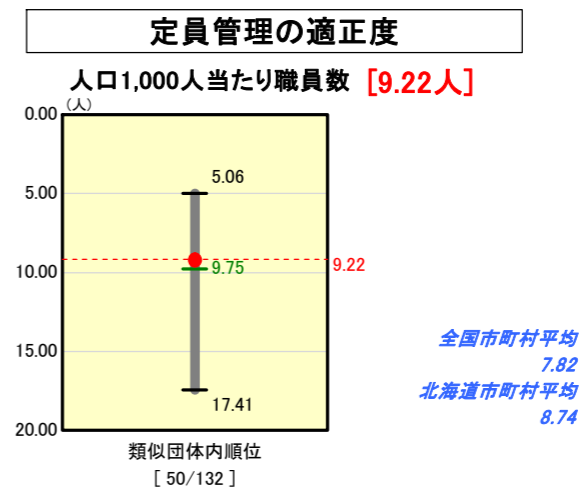
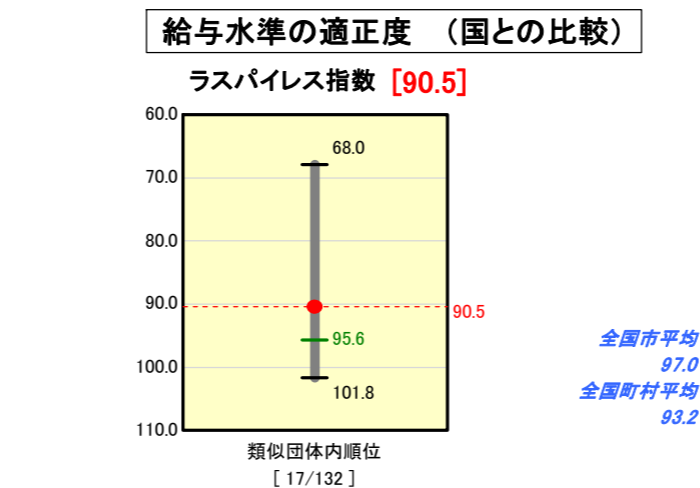
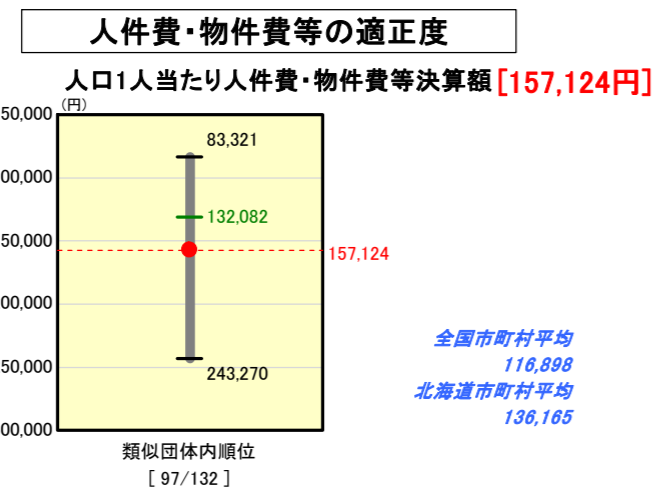
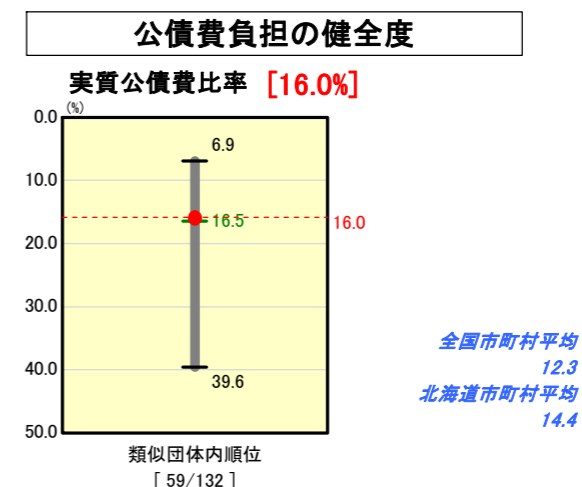
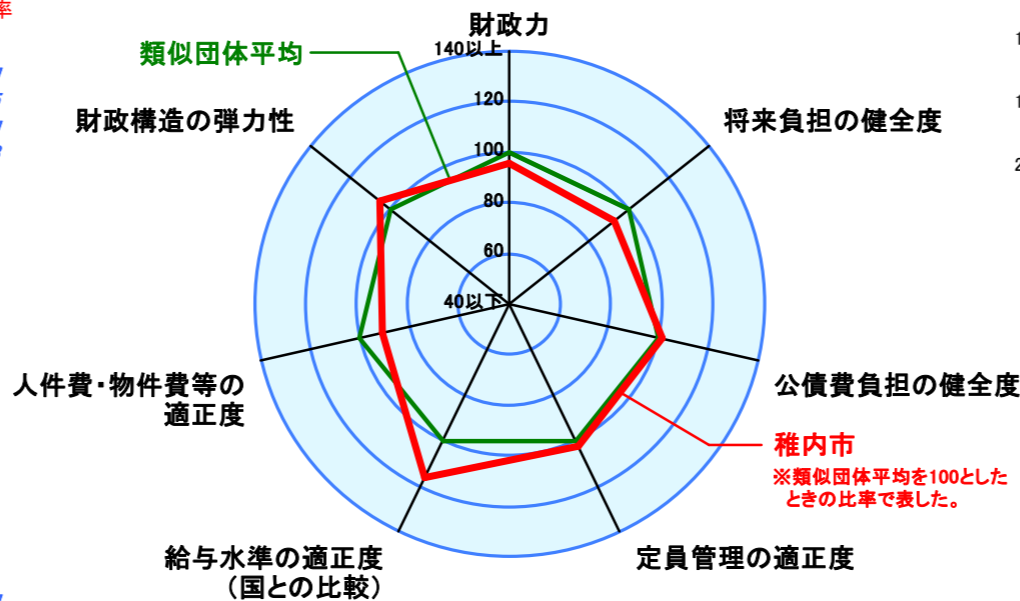
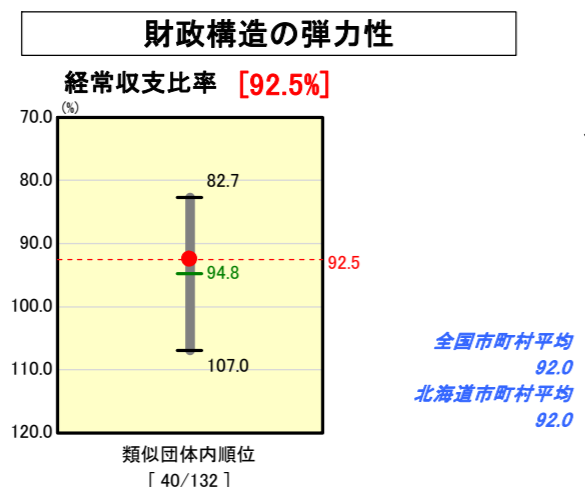
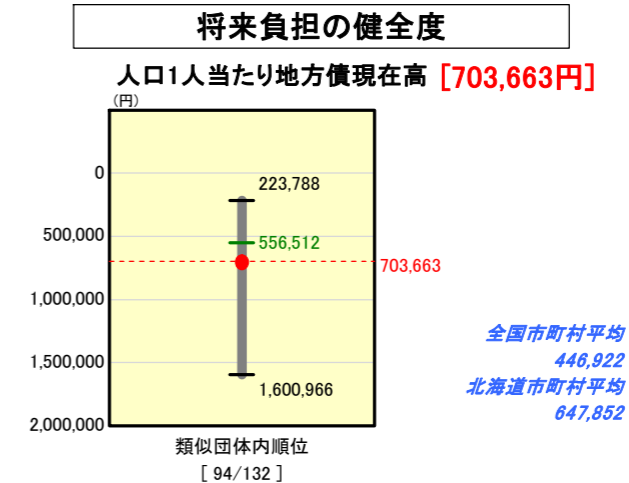
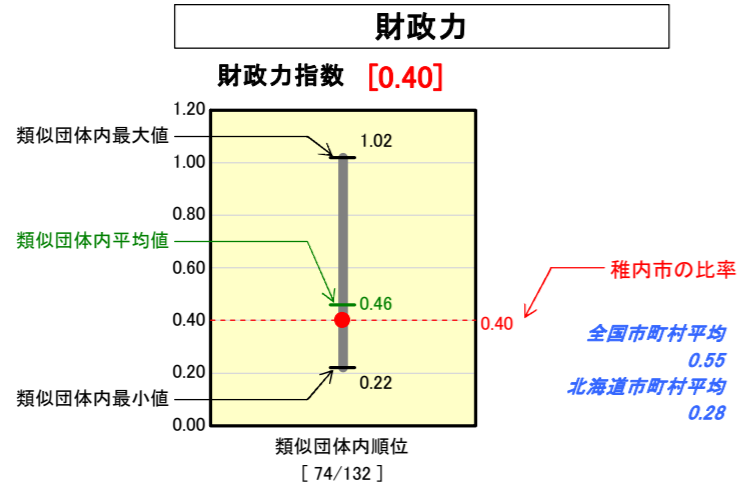


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

北海道 稚内市

人口	40,244	人(H20.3.31現在)
面積	760.83	km ²
歳入総額	22,684,106	千円
歳出総額	22,555,446	千円
実質収支	128,613	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 税源移譲及び水産業等の税収が伸びており、0.01増の0.40となっている。今後も引き続き、退職者の不補充による人件費の削減や事務事業の見直しを行う。また、市税等の徴収率向上に取り組み歳入確保に努める。

経常収支比率: 経常一般財源である地方交付税が377,663千円減少したことにより、前年度より3.1%悪化している。退職者不補充による人件費の削減などを行い、義務的経費の削減に努める。

実質公債費比率: 計画的に地方債を発行しているため公債費が減少しており、また、比率の算出方法が変更になったことにより、2.2%下がり16.0%となっている。今後も引き続き計画的な地方債の発行に努める。

地方債現在高: 港湾事業など地域の特性に伴う事業の実施による地方債残高があるため、類似団体平均を大きく上回っているが、今後も計画的な地方債の発行に努める。

ラスパイレス指数: 地域給与と制度導入等の給与制度見直しにより、類似団体平均を下回っているが、引き続き給与の適正化に努める。

人口1,000人当たりの職員数: 退職者不補充や定員の適正化を行ってきたことにより、類似団体平均を下回っているが、今後も職員数の適正化に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体平均を大きく上回っているが、人件費の削減や指定管理者制度導入により、類似団体平均の水準に近づけるよう努める。